

安比高原ブナ二次林

初夏 6月上旬

岩手北部森林管理署と岩手県八幡平市とは、「あっぱ高原遊々の森」(面積181.29ha)として「中のまきば」、「ブナ二次林」を中心とした森林環境教育や体験活動の場として利用できる協定を締結しています。

林野庁では、国有林をフィールドとして提供する「遊々の森」の設定を推進しています。

交通のご案内

東北自動車道／松尾八幡平ICより約25分
安代ICより約30分

JR花輪線・IGRいわて銀河鉄道

／最寄駅「安比高原駅」から7.6km
(無人駅・公共交通機関はありません。)

「荒屋新町駅」からタクシーで約25分

■安代観光タクシー ☎0195-72-2535

「平館駅」からタクシーで約25分

■平館タクシー ☎0195-74-2525

タクシー利用の際は、事前予約がおすすめです。



一般社団法人 八幡平市観光協会

〒028-7303 岩手県八幡平市柏台一丁目28番地

TEL 0195-78-3500 FAX 0195-78-3838

<http://www.hachimantai.or.jp/>

E-mail: kanko@hachimantai.or.jp

(H31.3)

秋 10月上旬

二次林

二次林とは、本来その土地にあった森林が、台風や噴火などの自然災害や伐採などによって裸地となり、その後、自然に再生した森林をいいます。地元の人たちが「前のまきば」「中のまきば」「奥のまきば」と呼んでいる安比高原。この芝生高原を取り囲むようにブナの二次林が広範囲に分布しています。

ここは、古くから、地元の人たちの木炭や漆等の材料にするため伐採されました。その際、1ヘクタール当たり数本の母樹や、のこぎりで伐採できないような大きな木が残されたといわれています。それらが親木となり、種子が落下して発芽し、再成しました。

当時は牛馬の林間放牧も盛んに行われていたため、ブナの稚樹の成育をさまたげるササ等の競争相手が採食されたことも、成育にとって好都合だったといわれています。

現在、見事なブナ二次林となり、私たちに豊かな自然の恵と安らぎを与えてくれています。

林内には散策路があり、二次林が間近に観察でき、森林浴の森日本100選にも選ばれています。

安比高原ブナ二次林 ブナ浴のすすめ

緑のダムと呼ばれるブナ林。驚くのは、その保水力。
一歩足を踏み入ると、しっとりとした空気があなたを包みこみ、
地面がまるで絨毯のようにフカフカなことに気づきます。
種を飛ばし倒れたブナは、やがて他の木の養分になり、
空いた場所に差し込む太陽が、新しい芽を育てます。
そうして時間をかけて育まれたブナ達が息づく林で、
しばしゆったりとブナ浴をお楽しみください。



秋のブナ二次林を見上げると、黄色くなった葉が透き通るよう見え、やわらかな日差しが入ってきます。



エンジョヤマザクラ



ヤナギラン



キシリョウカン

奥のまきば

火山活動による岩塊が積み重なってきた台地のくぼみに水がたまってできた池塘群が広がる高層湿原です。季節毎に美しい高山植物が見られます。

- 6月上旬～新緑
- 7月上旬～ヤナギラン、ウサギギク
- 8月中旬～タチギボウシ など



黒滝

奥のまきばの解放された
雲間気から、うっそうとした
コメツガの林を進むと
滝があり、まったく違った
雲間気がみられます。奥の
まきばから徒歩30分。

野湯・安比温泉

奥のまきばから安比岳方面に徒歩約90分。(玄人向き)

安比高原ブナ二次林は平坦ですが、自然環境が異なる場所で季節ごとの自然散策が楽しめます。春には新緑、夏には山野草やセミの羽化、秋には落ち葉のじゅうたん、いつ訪れても見どころがあります。

○1986年 森林浴の森日本100選

○2002年 遊歩百選

- 4月下旬～芽吹き
- 5月中旬～新緑
- 6月下旬～ギンリョウソウ
- 10月上旬～紅葉

ブナ二次林

森の広場

グランドマザー看板

焼野のまきば

なだらかな斜面で林内には20m毎に標識があります。Dからブナの駅までは約1km。Dから白いブナ林までは約2km。



白いブナ林とは、木もれ日があたって白く輝くことからついたものです。

白いブナ林

この沢ではサンショウウオが見られます。



ぶなの駅

駐車場30台分(大型バス駐車可)あり、トイレ(オストメイト設備)や水場、休憩施設があります。利用は無料、5月中旬から11月上旬まで利用可能です。

中のまきば

- 4月下旬～アズマギク
- 5月中旬～ミネザクラ
- 6月上旬～レンゲツツジ
- 7月上旬～ヤナギラン など

巨木を育む森

ここには、マザーツリーと呼ばれる、ブナの巨木があり、その迫力に圧倒されます。周りのイリスに座って見上げると、さらに大きく見えます。ブナは300年しないうちに風で倒れたり枯れたりすることが多く、巨木が少ないと言われています。



アズマギク



「ぶなの駅」の前には一面に天然野芝が広がります。

散策コース例



奥のまきば・黒滝コース

奥のまきば入口 → 黒滝 (1km 約30分)

自然環境保護の為、マナーを守りましょう。

野芝草原の再生へ ～安比高原ふるさと倶楽部の活動～

安比高原の自然環境を次世代につなぎ、地域の活性化を目的にペンション・民宿オーナー、企業、関係団体、大学など市民を中心に構成されている。馬による芝草原の復元調査と研究、放牧実験、植生調査、藪の刈り払いのほか、地元小学校での課外授業、「遊々の森(前のまきば・中のまきば・奥のまきば)」での自然体験活動など自然環境保全事業、普及啓発活動が行われています。